

主題	認知症劇団 『ズッコケ in 月島』		
副題	認知症の正しい理解の促進について		
認知症			
研究期間	24か月	事業所	地域包括支援センター 月島おとしより相談センター
発表者： 岩野 たみ子（いわの たみこ）		アドバイザー：	
共同研究者：佐藤 麻美 中村 華子			
電 話	03-3531-1005	メール	houkatsu.t@san-ikukai.or.jp
FAX	03-3531-9198	URL	

今回発表の 事業所や サービスの 紹介	中央区月島にある地域包括支援センターです。母体法人は墨田区に本部を持つ社会福祉法人賛育会。 月島は昔ながらの商店街や長屋の残る下町と超高層マンションが共存する町です。
------------------------------	---

《1. 研究前の状況と課題》

今まで、地域の方に『認知症』とはどういうものか、又どのように対応したら良いのかを講義形式の講座を開いて行っていた。しかし、興味をもって来て下さった地域の方の『認知症』の印象は、暗い・怖い・なりたくない。とマイナスイメージが強かった。（講座後アンケートより抜粋）。

そこで『認知症』をより多くの地域の方に、身近に正しく。且つ楽しく理解していただきたいという課題が上がった。

《2. 研究の目標と期待する成果・目的》

『認知症』を正しく理解してほしい。興味を持って感じてほしい。また、より多くの地域の方々に『認知症』への対応方法を知る機会を持ってほしい。そして、認知症になっても安心して暮らせる町作りをしたい。そのような希望を持って、認知症劇団を発足した。

《3. 具体的な取り組みの内容》

- ① 対象者：地域の方全員
- ② 取り組みの具体的な手法：オリジナルの台本を作成し認知症の対応の良い例と悪い例を演じる。（台本は家族編と地域編）。出演依頼は警察、区、社協、地域の各会。学会、地域の施設等多数。
- ③ 取り組み時間や期間：プロジェクト機関は2年間。スタッフは月1回会議。練習は2か月前より週1回開始。（本番前は週2回程度）（決定から公演まで約3か月）。年間5公演行なった。
- ④ 取り組みの手順：講演するイベントを選出し、テーマを選ぶ。出演希望者を募り、声掛けにて出演者決定。出演者のスケジュール調整。練習を繰り返す。本番へ。
- ⑤ 取り組んだ職員数や構成：スタッフは福祉関係者(包括職員・同地域特養職員)と民生委員の計5名。出演者は地域のケアマネや施設職員、民生委員、区民等。（台本により人数は決定）
- ⑥ 署間の連携：地域住民との連携及び地域の他事業所との連携
- ⑦ 必要とした道具や費用：大道具はどこにでもあるテーブルとイスのみ。小道具はスタッフが廃材を利用して手作り。衣装はそれぞれの持ちよりや知人からのレンタルの無料。要した金額は出演者とスタッフの交通費（交通での移動が必要な場合のみ）。
- ⑧ 活動の成果を出すポイントになった点：出演者に、全面的協力が得られたこと。また、ロコミで広まり出演依頼が次々と来たことが成功のポイントであった。
- ⑨ 取り組みへの施設のバックアップ体制：同法人のデイサービスのスペースを提供していただき、夕方から練習を行なう事が出来た。小道具・大道具の置場も提供していただいた。運搬の際には施設の車を利用。積極的なバックアップ体制を整備して頂いた。

《4. 取り組みの結果と考察》

- ① 『お芝居がわかりやすかった』『認知症への接し方がわかった』『お芝居があって退屈しなかった』（講演後アンケートより）。言葉だけでなく視覚的に伝えることで『認知症』への理解が深まった。
- ② 福祉分野以外のイベントで講演をしたことで、今まで『認知症』に興味がなかった方にも触れて頂く機会の提供が出来た。
- ③ 地域の民生委員や住民に、スタッフ・出演者として参加していただいた事で、福祉関係者だけでは広がりづらかった部分の地域ネットワークの構築につながった。

《5. まとめ、結論》

劇団を結成し、多くの方に観て頂く事ができた。しかし、一つの劇団では公演回数も限りがある。今後は民生委員や地域の方の主催でより多くの認知症劇団を発足し、『認知症』となっても安心して暮らせる町を目指してゆきたい。

《6. 倫理的配慮に関する事項》

なお、本研究発表を行うにあたり、スタッフ・出演者に口頭にて確認をし、本研究発表以外では使用しないこと、それにより不利益を被ることはないことを説明し、回答をもって同意を得たこととした。

《8. 提案と発信》

『認知症』になっても安心して暮らせる町とは、いったいどんな町でしょうか。もし自分が認知症になったら、どう接して欲しいでしょうか。少し考えても福祉関係者だけでは対応しきれない事ばかりです。ご家族・知人・そして地域の方へ、様々な方法・角度で問いかけ、発信し続けて行きたいと思います。

【メモ欄】